

2021年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年3月15日

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4355 URL <http://www.longlife-holding.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 ひろみ
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 大麻 良太 TEL 06-6373-9191
 四半期報告書提出予定日 2021年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第1四半期の連結業績（2020年11月1日～2021年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第1四半期	3,061	△3.2	△5	—	93	—	47	—
2020年10月期第1四半期	3,162	△2.8	△125	—	△149	—	△193	—

(注) 包括利益 2021年10月期第1四半期 37百万円 (—%) 2020年10月期第1四半期 △210百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第1四半期	4.56	—
2020年10月期第1四半期	△18.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年10月期第1四半期	19,060	2,553	13.4	246.31
2020年10月期	19,675	2,578	13.1	248.72

(参考) 自己資本 2021年10月期第1四半期 2,553百万円 2020年10月期 2,578百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2021年10月期	—	—	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△3.3	230	134.2	100	841.4	50	—	4.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

なお、売上高の対前期増減率につきましては連結の範囲から除外したカシダス株式会社を除くベースでは、6.0%の増収となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期1Q	11,190,400株	2020年10月期	11,190,400株
② 期末自己株式数	2021年10月期1Q	822,405株	2020年10月期	822,405株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期1Q	10,367,995株	2020年10月期1Q	10,374,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が第3波として感染急拡大する中、2021年1月から緊急事態宣言が再度発出されるなど、先行きに不安を抱える状況となっております。

介護業界におきましても、高齢者や障がい者の方々を対象としている業界であるため、感染拡大防止を最優先に活動の制限が継続している状況となっております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、コロナ禍において進みつつある価値観の変化への対応及び業績回復のため、役員体制の刷新や営業体制の強化を行い収益性の向上を図りました。全社を挙げての営業活動が実を結び、当第1四半期連結累計期間の売上高は30億61百万円（前年同期比3.2%減）と減収となりましたが、譲渡した福祉用具事業を除くベースでは前年同期比1億82百万円の増収（前年同期比6.4%増）であり、営業損失は5百万円（前年同期は1億25百万円の営業損失）まで回復し、前年同期比1億19百万円の改善となりました。さらに新型コロナウイルス感染症対策等に対する助成金収入等の計上により、経常利益は93百万円（前年同期は1億49百万円の経常損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は47百万円（前年同期は1億93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、前期に新たな有料老人ホーム3拠点を開設した一方で、2021年1月には「ロングライフみなせ（大阪府三島郡）」を建物賃貸借契約の終了に伴い閉鎖した結果、当第1四半期連結会計期間末におけるホーム数は23ホームで居室総数は1,041室となっております。引き続きホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は12億84百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益は57百万円（前年同期は1億15百万円の経常損失）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるサービス数は121サービスとなっております。各事業所職員の育成充実と、訪問介護における特定事業所加算が適用される事業所を増加させ、サービスの質の向上を図り、事業拠点の収益力アップに努めております。

在宅介護事業の売上高は14億48百万円（前年同期比1.9%増）、経常利益は92百万円（前年同期は0.1百万円の経常損失）となりました。

③フード事業

フード事業につきましては、主に当社グループが運営する有料老人ホーム等に食事を提供しております。また、オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めております。

フード事業の売上高は26百万円（前年同期比15.5%増）、経常利益は1百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

④リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っており、サービスの向上と新規会員の獲得に注力しております。

リゾート事業の売上高は49百万円（前年同期比55.1%増）、経常損失は83百万円（前年同期は1億3百万円の経常損失）となりました。

⑤その他

その他につきましては、調剤薬局事業及び医療関連事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフグローバルコンサルタント株式会社」及び「朗楽(青島)頤養運営管理有限公司」の3社により構成されております。

当セグメントの売上高は2億52百万円（前年同期比2.2%減）、経常利益は0.8百万円（前年同期は3百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億15百万円減少し、190億60百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より5億75百万円減少し53億29百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が4億73百万円、受取手形及び売掛金が72百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より40百万円減少し、137億30百万円となりました。その主な内訳は、投資有価証券が24百万円減少したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より3億75百万円減少し、85億44百万円となりました。その主な内訳は、未払法人税等が3億14百万円減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より2億15百万円減少し、79億61百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が2億46百万円減少したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、25億53百万円となり、自己資本比率は13.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期通期の連結業績予想につきましては、コロナ禍収束の状況をはじめ今後の損益動向に不確定要素が多いため、2020年12月14日付決算短信にて公表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,965,042	2,491,173
受取手形及び売掛金	1,460,761	1,388,280
たな卸資産	66,424	83,707
預け金	994,741	991,261
その他	418,285	375,482
流動資産合計	5,905,256	5,329,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,891,800	11,992,096
減価償却累計額	△3,492,812	△3,606,155
建物及び構築物 (純額)	8,398,988	8,385,940
車両運搬具	13,158	13,158
減価償却累計額	△10,703	△10,902
車両運搬具 (純額)	2,454	2,256
工具、器具及び備品	831,582	828,320
減価償却累計額	△566,999	△557,236
工具、器具及び備品 (純額)	264,583	271,083
土地	3,786,857	3,788,129
リース資産	294,625	313,919
減価償却累計額	△154,957	△147,229
リース資産 (純額)	139,668	166,690
有形固定資産合計	12,592,551	12,614,099
無形固定資産		
のれん	22,029	20,243
その他	70,338	67,818
無形固定資産合計	92,367	88,062
投資その他の資産		
投資有価証券	46,440	21,975
関係会社株式	5,000	5,000
差入保証金	701,698	702,505
長期前払費用	40,964	37,937
繰延税金資産	38,435	12,980
その他	253,173	247,746
投資その他の資産合計	1,085,713	1,028,144
固定資産合計	13,770,632	13,730,306
資産合計	19,675,889	19,060,212

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	98,067	90,328
短期借入金	1,200,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	853,609	861,232
リース債務	29,937	35,844
未払金	306,155	386,254
未払費用	667,705	683,287
未払法人税等	340,995	26,964
前受金	5,033,125	4,985,052
賞与引当金	104,408	75,178
契約解除引当金	21,991	13,961
その他	264,132	186,865
流動負債合計	8,920,127	8,544,968
固定負債		
長期借入金	7,792,301	7,545,661
リース債務	123,261	147,088
繰延税金負債	22,047	22,005
退職給付に係る負債	119,815	124,865
資産除去債務	109,951	110,302
その他	9,671	11,576
固定負債合計	8,177,048	7,961,499
負債合計	17,097,175	16,506,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	10,982	10,982
利益剰余金	2,673,080	2,658,130
自己株式	△213,273	△213,273
株主資本合計	2,570,789	2,555,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,407	△533
為替換算調整勘定	△1,483	△1,561
その他の包括利益累計額合計	7,923	△2,095
純資産合計	2,578,713	2,553,743
負債純資産合計	19,675,889	19,060,212

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
売上高	3,162,054	3,061,828
売上原価	2,545,095	2,459,180
売上総利益	616,959	602,647
販売費及び一般管理費	742,185	608,039
営業損失(△)	△125,226	△5,391
営業外収益		
受取利息	119	23
受取配当金	757	386
助成金収入	—	133,336
その他	4,645	6,237
営業外収益合計	5,522	139,984
営業外費用		
支払利息	24,051	28,734
支払手数料	4,966	2,644
その他	578	9,784
営業外費用合計	29,596	41,162
経常利益又は経常損失(△)	△149,300	93,430
特別利益		
投資有価証券売却益	20,285	14,710
特別利益合計	20,285	14,710
特別損失		
固定資産除却損	4,310	822
賃貸借契約解約損	1,639	19,393
特別損失合計	5,949	20,216
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△134,965	87,924
法人税、住民税及び事業税	46,489	10,004
法人税等調整額	12,487	30,663
法人税等合計	58,977	40,667
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△193,942	47,257
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△193,942	47,257

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△193,942	47,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,491	△9,941
為替換算調整勘定	△327	△78
その他の包括利益合計	△16,819	△10,019
四半期包括利益	△210,762	37,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△210,762	37,237
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響)

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を現時点で合理的に算出することは困難であります。外部の情報等やコロナ禍での当社グループの対応実績を踏まえて当該影響は限定的であると仮定し、固定資産の減損損失や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施しております。

しかしながら、本感染症による影響は不確定要素が多く、今後、長期的な景気悪化等が生じる場合には、当社グループの業績に大きな影響を受ける可能性があります。

(重要な後発事象)

1. 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2021年1月15日開催の取締役会において、当社の従業員並びに当社子会社の従業員（以下「割当対象者」という。）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分を行うことについて決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

(1) 処分の目的及び理由

当社は、2021年1月15日開催の取締役会において、当社の割当対象者が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、より一層グループとしての価値共有を目指すことを目的として、割当対象者に対し、譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議いたしました。

(2) 自己株式の処分の概要

処分期日	2021年2月1日
処分する株式の種類及び数	当社普通株式 79,000株
処分価額	1株につき 240円
処分価額の総額	18,960,000円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
処分先及びその人数並びに 処分株式の数	当社の従業員 10名 2,000株 当社子会社の従業員 385名 77,000株
その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券 通知書を提出しております。

2. 譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2021年2月15日開催の取締役会において、当社の従業員並びに当社子会社の従業員（以下「割当対象者」という。）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式の処分を行うことについて決議し、以下のとおり自己株式の処分を実施いたしました。

(1) 処分の目的及び理由

当社は、2021年2月15日開催の取締役会において、当社の割当対象者が株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、より一層グループとしての価値共有を目指すことを目的として、割当対象者に対し、譲渡制限付株式報酬制度を導入することを決議いたしました。

(2) 自己株式の処分の概要

処分期日	2021年3月2日
処分する株式の種類及び数	当社普通株式 13,000株
処分価額	1株につき 281円
処分価額の総額	3,653,000円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
処分先及びその人数並びに 処分株式の数	当社の従業員 2名 400株 当社子会社の従業員 63名 12,600株
その他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券 通知書を提出しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,143,505	1,421,762	283,140	22,916	32,071	2,903,396	258,657	3,162,054
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	73	1,013	14,700	161,937	429	178,155	1,403	179,558
計	1,143,579	1,422,776	297,840	184,853	32,501	3,081,551	260,061	3,341,612
セグメント利益又は 損失(△)	△115,594	△183	△5,025	1,949	△103,791	△222,645	△3,326	△225,971

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△222,645
「その他」の区分の損益	△3,326
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	76,485
その他(注2)	150
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△149,300

(注1) 全社損益は当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年11月1日 至 2021年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	フード	リゾート	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,284,086	1,448,549	26,468	49,753	2,808,857	252,970	3,061,828
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,560	152,346	1,051	155,959	30,643	186,602
計	1,284,086	1,451,109	178,815	50,804	2,964,816	283,614	3,248,430
セグメント利益又は損失(△)	57,265	92,376	1,567	△83,209	67,999	△842	67,157

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	67,999
「その他」の区分の損益	△842
未実現利益の調整額	35
全社損益(注1)	31,486
その他(注2)	△5,249
四半期連結損益計算書の経常利益	93,430

(注1) 全社損益は当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

(注2) その他は主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「福祉用具事業」を担当していたカシダス株式会社を前第4四半期連結会計期間において連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「福祉用具事業」を報告セグメントから除外しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。